

A 1 工業技術基礎 第2課題 「立方体モデルの製作とスケッチ（デッサン）」

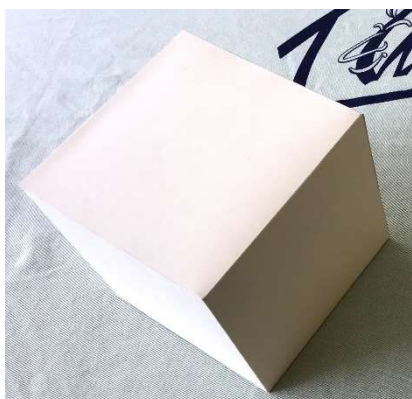
- 1 一辺が10cmの立方体モデル（作品）を一つ作る。
 身近にある無地の厚紙、ボール紙や文房具店などで販売している厚手のケント紙、スチレンボード等を使用して、一辺が10cmの立方体モデル（正六面体）を作る。



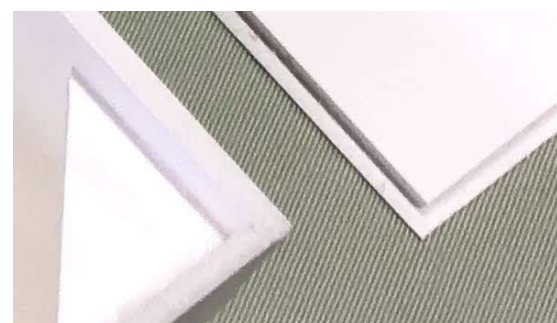
【注意点】

- ①寸法はできる限り正確に作る。（誤差0.5mm以内）
- ②各面が真っ平になるように工夫するし、紙の厚みや接合箇所が目立たないようにする。
- ③立方体モデルは作品として評価（提出）するので接着剤などによる汚れにも細心の注意を。
- ④切断は直線定規を使い、カッターナイフで切断する。（ハサミは直線が不正確になる。）
- ⑤A1・出席番号・氏名をいずれかの面の右下に高さ5mmで丁寧に記すこと。

【厚手のケント紙（クリーム色）の場合】



【スチレンボード3mm厚さの場合】



※理想は石膏で作ったような継ぎ目のない塊（重さを感じる）のような仕上がりです。

2 一辺が10cmの立方体モデル（作品）をスケッチ（デッサン）する。

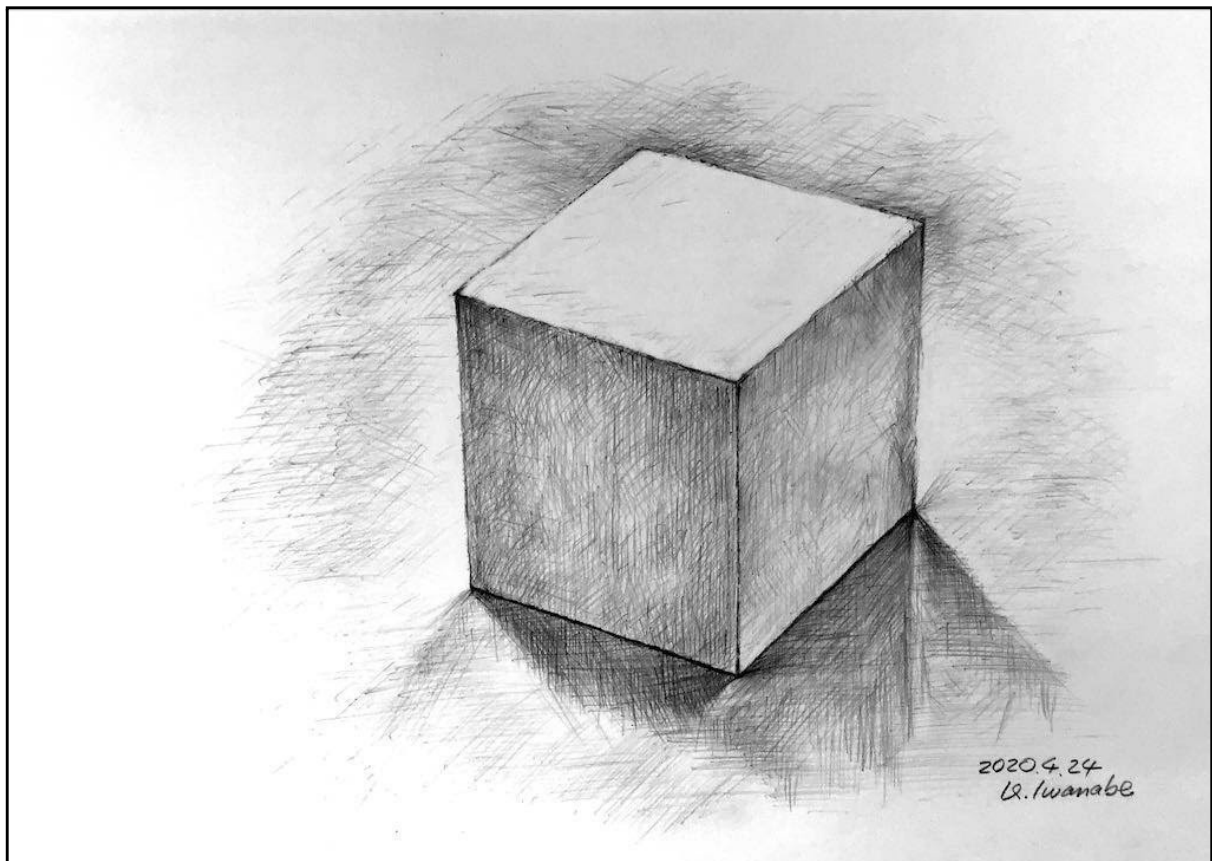
自分で作った10cmの立方体モデルをよく観察し、A4版（210mm×297mm）の白色の画用紙（白色のケント紙やデッサン用紙でもよい）に鉛筆（黒の単色）を使用し、できる限り正確にスケッチ（デッサン）をする。

【注意点】

- ①用紙の中央付近に実物大程度の大きさに立方体モデルを配置し、形の正確さ（立方体に見えるか）、紙の質感、光の方向が分かるような影（陰）、置台の表面の質感（テーブルの映り込み、布などの敷物）なども含めてスケッチ（デッサン）すること。
- ②必ず自分の作った立方体を目の前において、その周囲も詳細に観察してください。色なものが見えてくるはずです。
- ③写真に撮ったりしたものを模写したり、なぞったりしてはダメです。定規の使用も不可です。すべてフリーハンドで描いてください。正確な形や立体、質感をとらえる練習になりません。【NGです】
- ④A1・出席番号・氏名（サイン）を用紙の右下に記すこと。英字でもよいです。

【1】のストレッチボード3mm厚で作った立方体を平らなテーブルの上において、

A4版の白色ケント紙に逆光でスケッチしたものです。】



【自己評価】

白色のケント紙にHB濃さの製図用ホルダーでスケッチをしましたが、画用紙の方が鉛筆には適していると感じました。直線がシャープでなく、縁が強調され真っ平な面としての表現がうまくできませんでした。自己採点65点。各自でそれぞれに構図や光の設定を工夫してみよう。

【提出日】立方体モデル、デッサン（折り曲げないこと）共に5月11日（月）提出。